学校と地域を結ぶお元気情報 NO.13　大仙市立神宮寺小学校 学校支援地域コーディネーター　2011年3月13日発行

おいだらぼっち

おいだらぼっちは神宮寺嶽を背負ってきた心やさしい伝説の巨人

題字　１年 大野快人　　絵　２年 佐藤一真

子どもたちのやる気が大きく変わってきました！

強力な学校応援ありがとうございました

２００８年度に文部科学省の委託で始まった「学校支援地域本部事業」が終わり、２０１１年度から大仙市の事業となります。

３年間の歩みを振り返ってみると、その成果はとても大きなものを得ました。端的な言葉で表すと「子どもたちのやる気」が大きく変わってきたということです。人間の生き方を支配するのは「やる気」だといいますが、この言葉は子どもの学習にそのまま当てはまります。

３年間のあなたの「学校応援」が、この結果をもたらしたのです。「出来ることを」「出来るときにやる」という力まない日常の協力が、結果として「やる気」を育ててきたのです。これは継続の力です。たゆまない応援ありがとうございました。

新年度も、変わらないご支援をよろしくお願いします。

地域の先生・スクールサポーターの活動の広がり

年度	支援者				活動内容						
	人数	保護者	地域住民	その他	学習支援	情報支援	環境整備	学校行事支援	スクールガード	部活動支援	その他
H20	851	512	265	74	242	26	109	366	59	46	3
H21	1919	1529	281	104	291	39	624	309	436	127	93
H22	2740	2084	535	121	425	41	593	340	752	83	506

◆◇◆メディアと生活　その３◆◇◆

メディアの機能の進歩はめまぐるしい程速く便利になってきました。その反面想像のつかない犯罪も発生させています。出刃包丁は料理に必要な道具ですが、犯罪に使われると凶器になります。道具にはこのような二面性があります。メディアもその原理はまったく同じです。形に現れない、しかも無意識に人間を支配している側面がより深刻です。そのことを警告している本があります。その本を紹介してこの稿を終わります。是非お読み下さい。

『脳内汚染』（岡田尊司著・文藝春秋社発行）

岡田氏は精神科医師・医学博士・現在京都医療少年院に勤務している方です。

目次の一部を紹介します。

- 子ども部屋に進入した麻薬　ゲーム に寛容だった親たち、他
- 十代で燃え尽きる脳と無気力な若者たち　慢性中毒後遺症に似た症状
- 中毒になりやすいタイプと危険因子　開始年齢が低い程危険
- 損なわれる心の発達と幼くなる現代人　現実を押しのける仮想世界
- サイコパス化する若者の脳　ゲーム、ネット中毒と前頭葉機能の低下
- 脳内汚染は回復できるか　予防に勝る治療なし　手作り体験が心を育てる

※子どもを抱きしめていますか。今日の話を聞きましたか。